

美術の窓(124)

風景画制作に際し、現地から送られてきた草稿

大和文華館館長 浅野秀剛

歌川広重の作品として最も有名な、保永堂版「東海道五拾三次」(広重は同種の東海道のシリーズを何組も描いているので、それらのシリーズから特定のものを示す場合、こう表記することが多い)を制作するに際し、広重は、実際に東海道を旅し、そのスケッチを基に下絵を描いたのかどうか、ということが、近年、浮世絵研究者の間で話題(論争?)になっている。数十年前までは、旅のスケッチを基に作画したということがほぼ定説化していたが、そのことに対する疑義説が出されると、次第に、旅をしないで描いたのではないかと考える研究者が増えてきた。

旅のスケッチを基にしていなかったとなると、どうやって作画したのかが問題になる。そこで浮上したのが、既に出版されていた『東海道名所図会』などの版本の図を基に作画したという説である。実際、比較してみると、そのような作品が随所に認められ、それが、京に近い宿駅ほど多くなる。ただ、すべての作品に、

先行する版本が見出されたわけではなく、参考図が見出されたのは、まだ全体の半分にも達していない。したがって、現在、旅をしていると考える人も、しないで描いたと考える人も手詰まり状態にあると思われる。

想像を逞しくすれば、旅をして、そのスケッチが手許にあるが、それだけではなく、既刊の図も参考にして描いたということも考えられるわけで、更に、そこに旅をしたことのある人から話を聞いて描いた、その地の出身者から話を聞いて描いた、また、公刊されてはいないが、その地を描いたスケッチや絵画など(つまり、他人の写本)を基に描くこともできるはずである。しかし、それを実証することは難しい。だから現時点では、それらは想像説にすぎない。

現時点では、これから述べることも想像説に過ぎないが、近年私は、もう少し有力な方法があるのではないかと考えるようになった。それは、現地の絵心のある人に描いてもらい、それを江戸に送ってもらう方法である。

今であれば、現地の人に写真を撮ってくれるよう頼み、それを送ってもらうという方法である。広重が「東海道五拾三次」を制作した天保時代(1830-44)は、江戸の版元(書物問屋、地本問屋)が地方に本を届けるルートはかなり整備されていた。そのルートを使って、版元が、地方に住む関係者に頼むことはさほど難しくはなかったと思われる。

図1と図2を見てほしい。山梨県立博物館甲州文庫蔵のこの資料は、以前にも使わせていただいたことがあるが、甲府の菓子商「升太」の依頼で制作されたと思われる双六である。図2が、江戸の浮世絵師・歌川国芳一門合作の嘉永元年(1848)頃に制作された錦絵「甲斐名所すご六」で、図1が、その基になったと思われる草稿である。草稿に署名はないが、おそらく、甲斐に住む、絵心のある人が描いたもので、それを「升太」の主人が江戸の国芳のもとに送り、国芳とその門人は、それを基に図2を完成させたものと推定される。両者を比べると、いくつかの相違点が認められるが、概ね、草稿どおりに制作していることが分かる。もし、この草稿がなかったとすれば、国芳が「升太」の依頼を引き受ける

ことはできなかったに違いない。

国芳一門の「甲斐名所すご六」と同様のことを、広重もしばしば行っていたことが、近年明らかになりつつある。例えば、桑山童奈「浮世絵師と地方のつながり—浮世絵師の署名がある「地方出版物」について—」(『太田記念美術館紀要 浮世絵研究』第2号、2012年)には、「此地よりおくる草稿を模写して 江都一立斎筆(一立斎は広重の号)」と記されている「金沢飛石金龍院山上八景眺望之図」(この金沢は現横浜市の金沢)や、「伊香保雪峰図 江戸細画広重写」と記されている「伊香保温泉名所一覧」が紹介されている。前者は、金沢の金龍院から送られてきた草稿を基に模写したことを述べたものであり、後者は、伊香保に住む雪峰という人の図に基づいて写した(描いた)ことを表明したものということになる。

広重の先輩、葛飾北斎にも「づによつてうつす(図に依つて写す)」という印を持つ「奥州塩竈松島之略図」という作品がある。その作品もまた、地元の人が描いた草稿に基づいて制作した作品とみてよいであろう。

もちろん、広重の「東海道五拾三次」に、地方から送られてきたスケッチや草稿の類があったとしても、広重がそれをそのまま清書して作品を完成させたとは考えられない。しかし、特定の名所・風景を描く場合、全くの想像で、ということは考えにくい。その手掛かりとして、現地の人が描いたものがあれば随分違うと思うのである。

図1

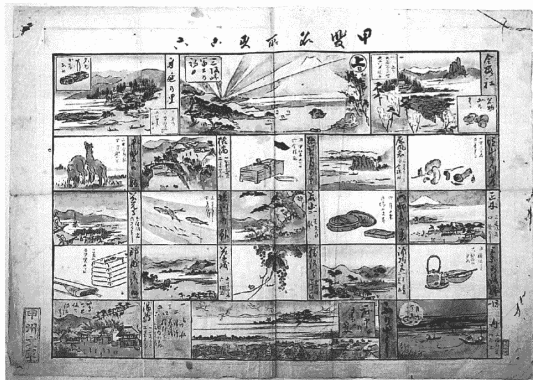
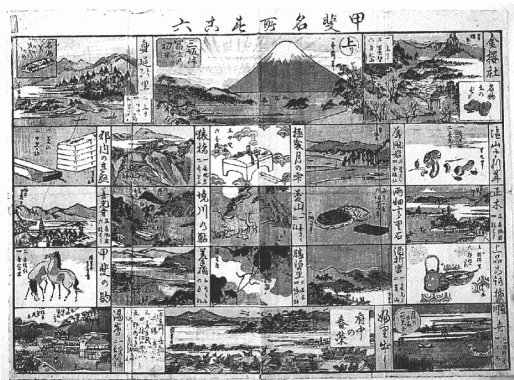


図2



季刊 美のたより No.182

平成25年 4月5日

発行 大和文華館